

## 質問回答

2015年3月16日

「案件名:インドネシア国障害と開発に係る情報収集・確認調査」

(公告日:2015年3月4日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 P12 第 2. 業務の目的・内容に関する事項 5. 実施方針及び留意事項 (6) 調査実施期間	第二次調査期間につき伺います。2015 年のラマダン予定時期は 6 月 18 日～7 月 16 日 ( <a href="http://sky.geocities.jp/kaltimjp/ramadan.htm">http://sky.geocities.jp/kaltimjp/ramadan.htm</a> )となっています。第二次現地調査(1 日のセミナーを含む 2 週間)が 6 月中旬となっており、ラマダンと重なります。そのため、実施時期を 6 月上旬に前倒し、7 月末から 8 月頃に先送り実施は可能でしょうか。もしくは予定どおり 6 月中旬に調査を実施し、丸一日ではなく、半日のセミナー若しくは、半日を二日間行う等の対応が可能でしょうか。	ラマダン期間であっても、現地では通常どおり業務を行っておりますので、第二次現地調査については、予定どおり 6 月中旬を考えております。他方、セミナーの開催方法(1 日とするか、半日セミナーを 2 回とするか等)については、調査開始後にインドネシア側とも相談して柔軟に対応したいと考えております。見積では、半日のセミナーを 2 回として計上いたします。
2	業務指示書 P12-13 第 2. 業務の目的・内容に関する事項 6. 業務の内容 (2) 第一次現地調査 2)-③ 防災に関する情報は、ジョグジャカルタ市の障害当事者団体、他ドナー機関関係者(5～6 団体)から聞き取り調査を行う。	① ジョグジャカルタ市での聞き取り調査項目は「防災」のみに限定されるのでしょうか？  ② また、防災に係る情報収集はジョグジャカルタ市のみで行うのでしょうか？	① 「防災」を念頭においていますが、それ以外の項目について必要とお考えの場合、プロポーザルにてご提案ください。  ② 防災に係る情報収集はジョグジャカルタ市のみに限りません。 前提として、国レベルにおける全般的な情報(詳細は別紙1の1)及び別紙2のとおり)は、基本的にはインターネット等を活用して効率的に収集していただきますが、不足部分に関

		<p>③ 他の「障害と開発」に係る情報収集は、ジャカルタ市及びスラバヤ市内、そして国全体(総合指標及び政策等)に焦点を当てるという解釈で宜しいでしょうか？</p>	<p>して、必要に応じて聞き取り調査を行っていたことを想定しています。聞き取り調査先はジャカルタ市を想定しています。防災に関しても、国レベルの情報を収集していただきますが、防災についてはインターネット等による情報収集が困難であると想定されるとともに、障害者団体や他ドナー等の関連団体の本部の多くがジョグジャカルタ市にありますので、ジョグジャカルタ市での聞き取り調査が必要と考えています。</p> <p>③ 今回の調査において収集すべき情報は、国レベルにおける全般的な情報(詳細は別紙1の1)及び別紙2のとおり)と、スラバヤ市における情報(詳細は別紙1の2)のとおり)となります。そのため、ジャカルタ市に焦点を当てる必要はありません。</p>
3	<p>業務指示書 P13 第 2. 業務の目的・内容に関する事項 6. 業務の内容 (4) 第二次現地調査 2) 現地セミナーの実施を支援する。</p>	<p>「日程調整、会場準備(予約、設営)、関係機関への案内、セミナーの進行等は現地関係者及びインドネシア事務所が行うことを想定している」につき、</p> <p>① 会場費等の経費、講師／発表者への謝金等が発生する場合には、貴機構負担(見積に含めない)と考えて宜しいでしょうか？</p> <p>② ここでいう現地関係者とはスラバヤ市の関係者と理解してよいでしょうか？</p> <p>③ 同セミナーに対して、スラバヤ市からの協力</p>	<p>① ご理解のとおりです。</p> <p>② スラバヤ市の大学や障害者団体から協力を得ることを想定しています。</p> <p>③ 詳細については今後スラバヤ市及び関係者</p>

		<p>同意は既に得られているのでしょうか？</p> <p>④ スラバヤ市においてセミナーを開催するご予定ですが、他都市(ジャカルタやジョグジャカルタ)ではなくスラバヤでセミナーを開催する意義ないし理由につき、ご教示をお願いします。(その背景や理由によっては、他都市でもセミナーないしワークショップを開催することの妥当性が生じ得ると思われため)。</p>	<p>と調整する予定です。</p> <p>④ P10 業務の背景に記載のとおり、スラバヤ市等を中心に都市計画の策定が進められており、そのような都市づくりの計画段階から、バリアフリーを取り入れる等の対応が重要であると考えているためです。他都市での同様のセミナー開催は考えておりません。なお、情報収集にあたって、複数の関係者から聞き取りを行う場合に、個別の聞き取りよりも集団ワークショップ形式による聞き取りを行うことが効率的とお考えの場合、プロポーザルにてご提案ください。</p>
4	<p>業務指示書別紙 P18 調査項目案</p> <p>⑥ドナーの協力状況</p> <p>⑦今後の協力の方向性(案)</p> <p>⑧日本における専門家等リソース情報</p>	<p>左記の調査項目はスラバヤ市に関してという理解でよいでしょうか？</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>

以上